

教育研究業績書

令和7年4月30日 氏名 酒 井 誠			
研究分野		研究内容のキーワード	
芸術学 デザイン学 子ども学 教育学		芸術表現 メディア表現 芸術 教育的環境 図画工作・美術工芸	
認定を受けようとする課程における担当授業科目			
領域及び保育内容の指導 法に関する科目	大学が独自に 設定する科目	教育の基礎的理解に 関する科目等	特別支援教育に 関する科目
・保育内容表現 (オムニバス) ・保育内容表現の指導法 (オムニバス)	・子ども文化演習B (複数) ・ナチュラルアート (単独)	・図画工作 (単独)	・保育・教職実践演習(幼 稚園) (複数)
教育上の能力に関する事項			
事項	年 月	概要	
1 教育方法の実践例	平成28年4月 ～現在に至る 令和2年4月～ 現在に至る 令和3年8月 令和3年9月 令和4年7月	「図画工作」において身近にある様々なものを活用し、質感、形状、色彩等からインスピレーションを得て新たなものに変容させ、想像力、表現力を養えるよう制作を通して指導をしている。また、素材を多用に活用し、立体、装飾等多岐に渡り指導を行っている。 「ナチュラルアート」の授業において、フィールドリサーチから作品制作の素材、コンセプトを考え着想を得た作品制作を指導している。自然環境から素材や技法を考え、基礎的な技術及び応用力を主体的に学び、さらには環境を活動に生かせるよう指導を行っている。 小川町七夕まつりにて山村学園短期大学ブースを設置し、授業作品及び七夕飾りの展示を通して学生への年中行事への指導を行った。 埼玉県立鳩山高校文化祭にて山村学園短期大学ブースを設置し、授業で制作した暗室と光を使用した空間演出による展示を通して、学生への行事等への指導を行った。 小川町七夕まつりにて山村学園短期大学ブースを設置し、授業作品及び七夕飾りの展示を通して学生への年中行事への指導を行った。	
2 作成した教科書・教材	令和2年4月～ 令和5年3月	保育の教養に関わるテキスト及び効果測定用テストの編集、編纂を行った。これらを活用し、学生たちの保育についての学びを深める指導を行っている。	
3 教育上の能力に関する大学等の評価		学生による授業評価にて2020年度は5段階評価で図画工作Aグループ (4.70) Bグループ (4.60) Cグループ (4.76)、造形表現の探究(4.48)、ナチュラルアート(4.93)の高評価を受けた。2021年度は5段階評価で図画工作 (4.67)、ナチュラルアート (4.48) の高評価を受けた。2022年度は図画工作(4.70)、ナチュラルアート(4.90)、保育内容表現(4.30)の高評価を受けた。2023年度は5段階評価で図画工	

様式第4号（教員個人に関する書類）

		作（4. 90）、ナチュラルアート（4. 84）の高評価を受けた。
4 実務の経験を有する者についての特記事項	令和2年4月～現在に至る 令和3年3月 令和3年11月 令和4年1月 令和4年3月 令和4年10月 令和4年11月 令和5年3月 令和5年12月 令和6年3月 令和6年11月 令和6年11月 令和6年12月 令和7年3月	私立山村国際高校ライフデザインコースにて「保育入門」の講師を担い、図画工作分野の出前授業を行っている。 私立山村国際高校にて「紙版画」の講師として出前授業を行った。 筑波大学附属坂戸高校とWeb会議システムによる「光を使った図画工作」の講師として出前授業を行った。 埼玉県立鳩山高校にて「CDコマ作り」の講師として出前授業を行った。 埼玉県立狭山工業高等学校にて「なんちゃってステンドグラス」の講師として出前授業を行った。 埼玉県立滑川総合高等学校にて「ビニール人形を作ろう」の講師として出前授業を行った。 筑波大学附属坂戸高校とWeb会議システムによる「光を使った図画工作」の講師として出前授業を行った。 埼玉県立寄居城北高等学校にて「身近なものを使用した図画工作」の講師として出前授業を行った。 私立清和学園高等学校にて「なんちゃってステンドグラス」の講師として出前授業を行った。 埼玉県立寄居城北高等学校にて「ビニール人形を作ろう」の講師として出前授業を行った。 埼玉県立川越西高等学校にて「不思議な箱を作ろう」の講師として出前授業を行った。 埼玉県立滑川総合高等学校にて「ビニールおぼけを作ろう」の講師として出前授業を行った。 埼玉県立寄居城北高等学校にて「模擬授業（図画工作）」の講師として出前授業を行った。 私立山村国際高等学校にて「身近なものでハーバリウムを作ってみよう！」の講師として出前授業を行った。
5 その他 審査評議委員等	平成29年6月～現在に至る 令和3年4月～現在に至る 令和4年9月 令和5年4月～現在に至る 令和5年4月～現在に至る	一般社団法人日本版画協会 運営委員 坂戸市児童福祉審議会委員 一般社団法人日本版画協会 第89回版画展（東京都美術館/東京都台東区）一般公募部門作品審査員 一般社団法人日本版画協会 第90回記念版画展実行委員 全国大学造形美術教育教員養成協議会委員

様式第4号（教員個人に関する書類）

職務上の実績に関する事項		
事項	年 月	概要
1 資格，免許	平成25年3月 平成25年3月	中学校教諭専修免許状（美術）平24中専第1092号） 高等学校教諭専修免許状（美術）平24中専第1286号）
2 学校現場等での実務経験	4 年	敬愛学園高等学校 非常勤講師(平成24年9月～平成25年3月) 星野学園小学校 非常勤講師（平成28年4月～平成31年3月）
3 実務の経験を有する者についての特記事項	平成25年8月 平成25年8月 平成26年8月 平成26年8月 平成27年8月 平成27年8月 平成27年8月 平成28年8月 平成29年6月 平成30年2月 平成30年2月 令和3年11月 令和4年5月 令和4年9月 令和4年9月 令和4年11月 令和4年11月	東京藝術大学夏季公開講座にて「版画-銅版画実技-」の講師を務めた。 東京藝術大学夏季公開講座にて「油画デッサンコンクール」の講師を務めた。 東京藝術大学夏季公開講座にて「版画-リトグラフ実技-」の講師を務めた。 東京藝術大学夏季公開講座にて「油画デッサンコンクール」の講師を務めた。 東京藝術大学夏季公開講座にて「版画-銅版画実技-」の講師を務めた。 東京藝術大学夏季公開講座にて「油画デッサンコンクール」の講師を務めた。 Domain of Art15「魔法の国の大食堂」（プラザノース/さいたま市）にて小学生を対象とした作品制作実技指導を行った。 Domain of Art17「未来ハウスをつくろう」（プラザノース/さいたま市）にて小学生を対象とした作品制作実技指導を行った。 士別市企画しべつアーティスト・イン・レジデンス招聘 士別市企画市民向けワークショップ「大人のリトグラフ講座」の講師を務めた。 士別市企画子ども文化村「描いてはがしてぺったんこ」の講師を務めた。 日高どろんこ保育園職員を対象に、図画工作、造形表現の活動展開、指導方法に関する研修講師を務めた。 アカデミーフェスティバル「流れ星(タハデンレント)を作ろう」(アトレマルヒロ/川越市) の講師を務めた。 子ども大学はとやま「太陽光と葉っぱで写真を作ろう！！～青焼き日光写真とパスタフレーム作り～」(山村学園短期大学/埼玉県鳩山町) の講師を務めた。 一般社団法人日本版画協会第89回版画展（東京都美術館/東京都台東区）にて一般公募部門の作品審査員を務めた。 日高どろんこ保育園、朝霞どろんこ保育園の職員を対象に、図画工作、造形表現の活動展開、指導方法に関する研修講師を務めた。 「クリスマスオーナメント作り」（イオンタウンふじみ野/ふじみ野市）の講師を務めた。

様式第4号（教員個人に関する書類）

	令和4年12月 令和4年12月 令和5年5月 令和5年5月 令和5年9月 令和5年10月 令和5年10月 令和6年5月 令和6年8月-11月 令和6年10月 令和7年3月	東北芸術工科大学（山形）にてリトグラフ（石版画）制作及び作品解説における特別講義の講師を務めた。 地域連携イベントTJUPランド「不思議な小瓶を作ろう」（ウェスタ川越/川越市）の講師を務めた。 アカデミーフェスティバル「やまたんキリトリップを作ろう」（アトレマルヒロ/川越市）の講師を務めた。 子育て教養講座「ぺたぺたアートであそぼう」（つどいの広場ぽっぽ/埼玉県鳩山町）の講師を務めた。 はとやま健寿まつり「モキュモキュさんを作ろう」（はーとんスクエア/埼玉県鳩山町）の講師を務めた。 第90回記念版画展（東京都美術館/東京都台東区）特別イベント『版画の現場から』デモンストレーション「リトグラフ：アルミ版単色刷り及び、別紙への裏打ち実演」の講師を務めた。 子育て教養講座「ふしぎなこびんを作ろう」（つどいの広場ぽっぽ/埼玉県鳩山町）の講師を務めた。 子育て教養講座「ぺたぺたこいのぼりを作ろう」（つどいの広場ぽっぽ/埼玉県鳩山町）の講師を務めた。 TJUPオンデマンド公開講座『武蔵国の19校を通じて埼玉の大学を知る2024名物先生大集合！』にて講師を務めた。 ひがしまつやまアートフェスタin高坂彫刻プロムナード2024（中通公園/埼玉県東松山市）にてワークショップ「不思議な箱を作ろう」の講師を務めた。 地域連携イベントTJUPわくわくランド「身近なもので版画（リトグラフ）を体験しよう！」（東邦音楽大学/川越キャンパス）の講師を務めた。
4 その他【展示歴】	平成29年4月 平成29年5月 平成29年6月 平成30年1月 平成30年1月 令和2年1月 平成30年2月 令和2年2月 平成30年2月 平成30年2月 平成30年5月 平成30年7月 令和元年9月 平成31年1月 令和元年5月 令和元年10月 令和元年10月 令和2年2月	Stay here-鳥のいる風景/養清堂画廊（東京都中央区） そばにいて…/養清堂画廊（東京都中央区） 夢のはじまり…/養清堂画廊（東京都中央区） 香りに誘われて…/養清堂画廊（東京都中央区） 日本の創作版画展/松坂屋（静岡県静岡市） しべつアーティスト・イン・レジデンス成果発表展/士別市生涯学習センターいぶき（北海道士別市） 日本現代版画展2018/松坂屋（愛知県名古屋市） 池袋アートギャザリング/東京芸術劇場（東京都豊島区） 日本現代版画展/天満屋美術画廊（広島県広島市） 世界の版画芸術/松山三越（愛媛県松山市） 日本の創作版画展/松坂屋（静岡県静岡市） 池袋回遊派美術展/東京芸術劇場（東京都豊島区） 酒井誠個展-すこし、寄り道をして-/TKGALLERY（東京都中央区） 世界の版画芸術/高松三越（香川県高松市） さいたまアートプロジェクト/埼玉会館（埼玉県さいたま市）

様式第4号（教員個人に関する書類）

	令和2年3月	市)
	令和2年11月	日本現代版画展inセルビア/Gallery LA VISTA(セルビア/ノヴィ・サド)/ニーシュ要塞パビリオン(ニーシュ)/The
	令和3年3月	City Gallery ” Balkan Bridges” /(クラグヴィツ)
	令和3年4月～12月	SICF22/スパイラルガーデン（東京都渋谷区）
	令和3年6.7月	若手アーティスト作品展示プロジェクト/河口湖音楽と森の美術館（山梨県富士河口湖町）
	令和3年10月	第88回版画展/東京都美術館（東京都台東区）
	令和4年3月	ACT PRINT PROJECT6/The Artcomplex Center of Tokyo(東京都新宿区)
	令和4年10月	第89回版画展/東京都美術館（東京都台東区）
	令和5年3月	ACT PRINT PROJECT7/The Artcomplex Center of Tokyo(東京都新宿区)
	令和5年4月	ACT小作品展2023/The Artcomplex Center of Tokyo(東京都新宿区)
	令和5年10月	第90回記念版画展/東京都美術館（東京都台東区）
	令和5年12月	酒井誠展-ここ最近のあったこと-/鳩山町多世代交流センター（埼玉県鳩山市）
	令和6年2月	ACT PRINT PROJECT8/The Artcomplex Center of Tokyo(東京都新宿区)
	令和6年4月	ACT小品展2024/The Artcomplex Center of Tokyo(東京都新宿区)
	令和6年8月-9月	80年代うまれの作家の展覧会「1980-89s」/The Artcomplex Center of Tokyo(東京都新宿区)
【パブリックコレクション】	平成21年12月	作品「悠久」町田市立国際版画美術館（東京都町田市）収蔵
	平成22年3月	作品「自画像」東京藝術大学美術館（東京都台東区）収蔵
	平成27年10月	作品「いつかの思い出」医療法人あずま会（群馬県伊勢崎市）収蔵
	平成28年3月	作品「いつかの思い出」国立台湾美術館（中華民国/台北市）収蔵
【受賞歴】	平成30年2月	作品「Snow White」士別市庁舎（北海道士別市）収蔵
	平成20年6月	セプテーニ賞展/セプテーニ・エディション賞受賞
	平成21年12月	第34回全国大学版画展/町田市立国際版画美術館収蔵賞受賞
	平成22年6月	第8回三菱商事アート・ゲート・プログラム入選(三菱商事株式会社買い上げ)受賞

様式第4号（教員個人に関する書類）

	平成22年12月	第9回三菱商事アート・ゲート・プログラム入選(三菱商事株式会社買い上げ)受賞				
	平成23年3月	第10回三菱商事アート・ゲート・プログラム入選(三菱商事株式会社買い上げ)受賞				
	平成24年6月	第13回三菱商事アート・ゲート・プログラム入選(三菱商事株式会社買い上げ)受賞				
	平成25年12月	第14回三菱商事アート・ゲート・プログラム入選(三菱商事株式会社買い上げ)受賞				
	平成26年12月	第18回三菱商事アート・ゲート・プログラム入選(三菱商事株式会社買い上げ)受賞				
	平成27年2月	第14回南島原市セミナーヨ現代版画展/長崎新聞社賞受賞(長崎県南島原市)				
	平成27年3月	第21回三菱商事アート・ゲート・プログラム入選(三菱商事株式会社買い上げ)受賞				
	平成27年6月	第22回三菱商事アート・ゲート・プログラム入選(三菱商事株式会社買い上げ)受賞				
	平成27年10月	第83回日本版画協会版画展 新人賞(東京都美術館/東京都)				
	平成29年2月	第16回南島原市セミナーヨ現代版画展/南島原市商工会賞(長崎県南島原市)				
	平成31年2月	第18回南島原市セミナーヨ現代版画展/南島原市PTA連合会賞受賞(長崎県南島原市)				
担当授業科目に関する研究業績等						
担当授業科目	著書、学術論文等の名称	単著 共著	発行年月	出版社又は発行雑誌等の名称	執筆ページ数 (総ページ数)	概 要
図 画 工 作 (単 独)	(教育実践記録等) 1. 保育内容「環境」と「表現」に繋がる“秘密基地づくり”遊び-自然と関わる学び-	共	令和3年3月	山 村 学 園 短 期 大 学 『山村学園短期大学紀要31号』	9(50)	本論文は、秘密基地づくりを通して、保育内容における観点からどのような効果があるのかを考察した。その際、五領域における「環境」「表現」の視点を重視して述べた。加えて、秘密基地の制作工程の記録を述べた。pp. 21-29 著者：巢立佳宏、 <u>酒井誠</u>
	2. 要素を重ねて	単	令和3年3月	版 画 学 会 『版画学会学会誌49号』	2(110)	版表現を伴う制作の際、どのような方法論で作品制作を行うかという点に焦点を絞り、制作環境を絡めた活動記録を綴った。 pp. 26-27
	3. 学内子ども参加型イベント	共	令和4年3月	山 村 学 園 短 期 大 学	12(90)	学内イベント「Yamamura Juhla

様式第4号（教員個人に関する書類）

	「Yamamura Juhla Juhla」に対する子どもたちの受け止め方について （１）－ストーリーに対する保育者の視点から－			『山村学園短期大学紀要32号』		Juhla」にて近隣の幼稚園、保育園から子どもたちを呼んで催物を行った。その際、大きなストーリーを軸に音楽表現、造形表現、身体表現を行い、学生や子ども達と共に非日常空間を演出した。これによりどのような反応や効果があったか、幼稚園、保育園の教員にインタビュー調査を行い、その動向を考察した。こちらはストーリーからの影響に焦点を絞り考察を行った。pp. 1-12 著者：福泉博子、<u>酒井誠</u>、楠原竜也、室井佑美
	4. 学内子ども参加型イベント 「Yamamura Juhla Juhla」に対する子どもたちの受け止め方について（２）－イベントのマネジメントに対する保育者の視点から－	共	令和4年3月	山村学園短期大学『山村学園短期大学紀要32号』	10(90)	学内イベント「Yamamura Juhla Juhla」にて近隣の幼稚園、保育園から子どもたちを呼んで催物を行った。その際、大きなストーリーを軸に音楽表現、造形表現、身体表現を行い、学生や子ども達と共に非日常空間を演出した。これによりどのような反応や効果があったか、幼稚園、保育園の教員にインタビュー調査を行い、その動向を考察した。こちらはイベントマネジメントに焦点を絞り、考察を行った。pp. 13-22 著者：<u>酒井誠</u>、室井佑美、楠原竜也、福泉博子
	5. 保育内容の実践における暗やみ空間の効果と可能性	共	令和4年3月	山村学園短期大学『山村学園短期大学紀要32号』	9(90)	学内イベントにて制作した暗やみと光を使用し、空間演出を行った。近隣の幼稚園、保育園の園児を招いた際に引率した教員にインタビュー調査を行い、オープンコードを用いて今回の反省及び今後の課題を考察した。pp. 23-32 著者：巢立佳宏、<u>酒井誠</u>、山村穂高、橋本淳一
	6. 子どもの遊びにつながる秘密基地の存在-保育者インタビューを通して-	共	令和4年3月	山村学園短期大学『山村学園短期大学紀要32号』	9(90)	学内に秘密基地を制作し、1年が

様式第4号（教員個人に関する書類）

	7. 実習生にとっての巡回指導の役割と課題	共	令和4年3月	山 村 学 園 短 期 大 学 『山 村 学 園 短 期 大 学 紀 要 32 号』	13 (90)	経過した。今後の秘密基地の在り方について、近隣の園の教員にインタビュー調査を行い、オープンコードを用いて今後の課題を考察した。pp. 47-56 著者：酒井誠、巢立佳宏、山村穂高、橋本淳一 学生と教員間でのやり取りの実情や指導の内容などに関して、実態を把握し今後の巡回指導の改善に資する基礎資料の収集を主な目的とし、実習調書や、学生にとったアンケートから抽出された単語をテキストマイニングし、集計を行った後、今後の実習生にとって効果的な巡回指導の在り方を探るための知見を得るため、調査を行った。pp. 33-46. 著者：巢立佳宏、山村穂高、 <u>酒井誠</u> 、橋本淳一
	8. 自然環境を活かした表現-植物を使用したオブジェ制作	単	令和4年3月	全 国 大 学 造 形 美 術 教 育 教 員 養 成 協 議 会『大学造 形 美 術 研 究 第 20 号』	4 (104)	自然環境を活かし、制作表現活動を行う授業の在り方と、そのプロセスについて論じた。今回はナチュラルアートの授業での活動内容の中から、大学校内に自生する草花を使用したオブジェ制作に焦点を当て、学生達とどのような制作活動を行ない、自然環境を学びに繋げていくかを考察した。pp. 32-35
	9. 身近な素材を使用した表現についての試み	単	令和4年3月	全 国 大 学 造 形 美 術 教 育 教 員 養 成 協 議 会『大学造 形 美 術 研 究 第 20 号』	4 (104)	身近な素材を活かし、制作表現活動を行う授業の在り方と、そのプロセスについて論じた。今回は図画工作の授業内で制作したクリアファイルとカラーペン、アルミホイルを使用した工作「なんちゃってステンドグラス」に焦点を当て、学生達と共にどのように制作

様式第4号（教員個人に関する書類）

	10. 保育者の意図的な環境構成と素材との関係について-保育現場における新聞紙遊びと表現（造形）的視点から-	共	令和5年3月	山村学園短期大学『山村学園短期大学紀要33号』		活動について向き合い、活動に移し、展開したかをまとめ、記載した。pp. 36-39
	11. 造形表現における応用力や配慮を養う取り組みについて一考察	単	令和5年3月	全国大学造形美術教育教員養成協議会『大学造形美術研究第21号』	4 (80)	新聞紙を使用した学びについて環境及び保育的観点からテキストマイニングを使用した考察を行うと共に、保育者養成校での新聞紙を使用した遊びを通した学びから得られる効果と可能性についても考察を行った。pp. 1-16 著者：橘和代、 <u>酒井誠</u> 、巢立佳宏
	12. 図画工作における発想の柔軟性を養う試み	単	令和5年3月	全国大学造形美術教育教員養成協議会『大学造形美術研究第21号』	4 (80)	図画工作を行う際にどのような点に配慮をし、学びにつなげるか、また、遊びや素材や道具の選び方、環境配慮について酒井ゼミを通して効果と可能性について考察を行うと共に、実際に実践した工作例も一緒に解説及び記録を綴った。pp. 22-25
	(学会発表) 1. 実習における学生にとって有用な巡回指導のあり方について	共	令和4年5月	日本保育学会第75回大会(ポスター発表)	2(1657)	身近な物を使用して図画工作の学びを展開する際に、どのように指導し、素材や道具を選び、気づきにつなげるのか。その一連のプロセスを通した効果と可能性について、令和4年に行われた子ども大学はとやまの事例をもとに考察を行った。pp. 26-29 学生と教員間でのやり取りの実情や指導の内容などに関して、実態を把握し今後の巡回指導の改善に資する基礎資料の収集を主な目的とし、実習調書や、学生にとったアンケートから抽出された単語をテキストマイニングし、集計を行った後、今後の実習生にとって効果的な巡回指導の在り

様式第 4 号（教員個人に関する書類）

	2. 保育におけるスヌーズレンを活用した保育空間演出の可能性	共	令和4年5月	日本保育学会第75回大会（口頭発表）	2(1657)	方を探るための知見を得るため、調査を行い、日本保育学会第75回大会にてポスター発表を行った。 著者：橋本淳一、巢立佳宏、<u>酒井誠</u> 学内イベントにて制作した暗やみと光を使用し、空間演出を行った。制作に関わった学生達にアンケート調査を行い、自由記述形式の内容を修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチM-GTA を用いて今回の反省及び今後の課題を考察したものを、日本保育学会第75回大会にて口頭発表を行った。 著者：巢立佳宏、<u>酒井誠</u>
	3. 秘密基地作りを通して保育の環境をデザインする	共	令和4年5月	日本保育学会第75回大会（口頭発表）	2(1657)	学内に秘密基地を制作し、1年が経過した。今後の秘密基地の在り方について、山村学園短期大学在校生を対象にアンケート調査を行い、その結果を用いて今後の課題を考察し、その内容を日本保育学会第75回大会にて口頭発表を行った。 著者：<u>酒井誠</u>、巢立佳宏
	（その他） 1. 藝大アートプラザ企画展-View against the light- 反照する風景	共	平成21年5月	版画集実行委員会（東京藝術大学版画研究室）	1(24)	藝大アートプラザ（東京藝術大学/上野）にて開催された、版画集実行委員会（東京藝術大学版画研究室）主催、アダチ伝統木版画技術保存財団、財団法人DNP文化振興財団助成、社団法人企業メセナ協議会認定による展覧会になる。清水彩氏がキュレーションを行

様式第4号（教員個人に関する書類）

	2. Who Makes Art 三菱商事アート・ゲート・プログラム	共	平成25年5月	三菱商事株式会社 環境・CSR推進部 社会貢献チーム	2 (38)	い、東京藝術大学版画研究室関係の者が作品展示を行った。この展覧会カタログにて自身の作品及び、経歴等のページの執筆を行った。 著者：東谷武美、 <u>酒井誠</u> （他19名） 2008年にスタートした企画で、若手アーティストによる作品公募を得て、年間約200作品を各10万円で三菱商事株式会社が買取り、三菱商事社内及び社外での展示を行った後、チャリティーオークションにて販売が行われる。若手アーティストのキャリア形成に繋がる社会貢献事業になる。第19回三菱商事アート・ゲート・プログラムカタログにて、自身の作品と社会への繋がりについて執筆した。同時に、酒井作品の購入者である平林良仁氏（美術館経営者）との対談形式でまとめられた。著者： <u>酒井誠</u> （他5名）
	3. 東谷武美退任展 日蝕・水の肖像図録	単	平成27年1月	アベイズム株式会社	(80)	平成27年1月5日（月）～1月15日（木）の間、東京藝術大学美術館陳列館にて開催された東谷武美退任展 日蝕・水の肖像の展覧会図録（全80頁）のデザイン、装丁、編纂の工程を行なった。図録のデザインに合わせ、各種看板、広報用フライヤー、招待状関連の印刷物のデザインも並行して行なった。
	4. 版画芸術 No. 169/2015秋	共	平成27年9月	阿部出版株式会社	4 (176)	版画芸術No. 169 2015秋号の特集ページ『リトグラファー25人 新時代を切り開く精鋭たち』にて掲載された。現在の版画界で活躍する新鋭作家として、リトグラフ制

様式第4号（教員個人に関する書類）

	5. 芸術家がみたつけた士別の秋：しべつアーティスト・イン・レジデンス-士別の秋-成果展	共	平成30年3月	しべつアーティスト・イン・レジデンス開催実行委員会（士別市博物館内）	3 (30)	作に携わっている作家25人に選出され、自身の作品や経歴、制作についての考え方についての文章を執筆した。著者：酒井誠(他24名) 平成29年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業で、北海道士別市にてアーティスト・イン・レジデンスを行った際の報告集である。作家として最大4ヶ月現地の農家、施設に滞在し、地域住民と交流、滞在制作を行った上で最終的には成果発表展を行った。その際の展示記録及び滞在期間内に、小学生対象に版画活動の普及を行ったワークショップ、成人向け公開講座の活動記録を綴った。 (執筆担当部分：作品と活動について) 著者：牧野勇司、酒井誠（他12名）
	6. 山短テキストの作成と効果測定における専門性の向上	単	令和5年1月	山村学園短期大学100周年誌	1 (128)	山村学園100周年記念誌に掲載の山短テキストについての文章を執筆した。これまで行なって来たテストの変革から、山短テキストを行うことでどのような効果と可能性があるかを考察した。
	7. 物の見方を変えて新しい発見と展開を考える試み	単	令和5年7月	全国大学造形美術教育教員養成協議会『全美協メールマガジン第70号』	4	自身で工作を考える際のポイントや着眼点について実例をもとに執筆した。今回はコピー用紙とビニール梱包テープを使用してフィルムを作り、ホログラムシートに貼り込んだ工作『やまたんキリトリップ』を考えた際の経緯を記載し、それを実際に行なったワークショップについても報告した。

様式第4号（教員個人に関する書類）

保 育 内 容 表 現 (オム ニバス)	(教育実践記録等) 1. 保育内容「環境」と「表現」に繋がる“秘密基地づくり”遊び-自然と関わる学び-	共	令和3年3月	山村学園短期大学『山村学園短期大学紀要31号』	9(50)	(再掲のため、略)
	2. 要素を重ねて	単	令和3年3月	版画学会『版画学会学会誌49号』	2(110)	(再掲のため、略)
	3. 学内子ども参加型イベント「Yamamura Juhla Juhla」に対する子どもたちの受け止め方について (1) — ストーリーに対する保育者の視点から —	共	令和4年3月	山村学園短期大学『山村学園短期大学紀要32号』	12(90)	(再掲のため、略)
	4. 学内子ども参加型イベント「Yamamura Juhla Juhla」に対する子どもたちの受け止め方について(2) — イベントのマネジメントに対する保育者の視点から —	共	令和4年3月	山村学園短期大学『山村学園短期大学紀要32号』	10(90)	(再掲のため、略)
	5. 保育内容の実践における暗やみ空間の効果と可能性	共	令和4年3月	山村学園短期大学『山村学園短期大学紀要32号』	9(90)	(再掲のため、略)

様式第4号（教員個人に関する書類）

	6. 子どもの遊びにつながる秘密基地の存在-保育者インタビューを通して-	共	令和4年3月	山村学園短期大学『山村学園短期大学紀要32号』	9(90)	(再掲のため、略)
	7. 実習生にとっての巡回指導の役割と課題	共	令和4年3月	山村学園短期大学『山村学園短期大学紀要32号』	13(90)	(再掲のため、略)
	8. 自然環境を活かした表現-植物を使用したオブジェ制作	単	令和4年3月	全国大学造形美術教育教員養成協議会『大学造形美術研究 第20号』	4(104)	(再掲のため、略)
	9. 身近な素材を使用した表現についての試み	単	令和4年3月	全国大学造形美術教育教員養成協議会『大学造形美術研究 第20号』	4(104)	(再掲のため、略)
	10. 保育者の意図的な環境構成と素材との関係について-保育現場における新聞紙遊びと表現（造形）的視点から-	共	令和5年3月	山村学園短期大学『山村学園短期大学紀要33号』		(再掲のため、略)
	11. 造形表現における応用力や配慮を養う取り組みについて-考察	単	令和5年3月	全国大学造形美術教育教員養成協議会『大学造	4(80)	(再掲のため、略)

様式第4号（教員個人に関する書類）

	12. 図画工作における発想の柔軟性を養う試み	単	令和5年3月	形美術研究第21号』 全国大学造形美術教育教員養成協議会『大学造形美術研究第21号』	4 (80)	(再掲のため、略)
	(学会発表) 1. 実習における学生にとって有用な巡回指導のあり方について	共	令和4年5月	日本保育学会第75回大会(ポスター発表)	2 (1657)	(再掲のため、略)
	2. 保育におけるスヌーズレンを活用した保育空間演出の可能性	共	令和4年5月	日本保育学会第75回大会(口頭発表)	2 (1657)	(再掲のため、略)
	3. 秘密基地作りを通して保育の環境をデザインする	共	令和4年5月	日本保育学会第75回大会(口頭発表)	2 (1657)	(再掲のため、略)
	(その他) 1. 藝大アートプラザ企画 展-View against the light- 反照する風景	共	平成21年5月	版画集実行委員会(東京藝術大学版画研究室)	1 (24)	(再掲のため、略)
	2. Who Makes Art 三菱商事アート・ゲート・プログラム	共	平成25年5月	三菱商事株式会社 環境・CSR推進部 社会貢献チーム	2 (38)	(再掲のため、略)
	3. 東谷武美退任展 日蝕・水の肖像	単	平成27年1月	アベイズム株式会社	(80)	(再掲のため、略)

様式第 4 号（教員個人に関する書類）

	図録			社		
	4 . 版 画 芸 術 No. 169/2015秋	共	平 成 27 年 9 月	阿 部 出 版 株式会社	4 (176)	(再掲のため、略)
	5 . 芸 術 家 が み た つ け た 土 別 の 秋 : し べ つ アーティス ト ・ イン ・ レジデ ン ス - 土 別 の 秋 - 成 果 展	共	平 成 30 年 3 月	し べ つ ア ー ティス ト ・ イン ・ レ ジ デ ン ス 開 催 実 行 委 員 会 (土 別 市 博 物 館 内)	3 (30)	(再掲のため、略)